

1945 年〔昭和 20 年〕8 月 15 日 ポツダム宣言受諾、無条件降伏

電力再編成と日本発送電の解体

終戦後、深刻な電力不足に襲われた。これは戦争末期に集中的な空襲により火力発電所や変電所等の施設が破壊され、高圧線の鉄塔が倒され、僅かに山間の水力発電所が残ったが、設備は老朽化し、送電線が破壊され、これは戦争中期から末期にかけて「決戦非常措置要項」や物資欠乏、新規事業中断等の数々の要因により、電力供給能力の減少により、深刻な電力不足を招き、停電が恒常的になった。

電気事業は軍需省が廃止され、商工省（現通